

2020年度

埼玉県立大学大学院
保健医療福祉学研究科
保健医療福祉学専攻【博士前期課程】

学生募集要項



埼玉県立大学

目 次

I	基本理念・教育研究上の目的・教育目標・入学者受入れ方針 -----	1
II	入学試験募集要項 -----	2
1	募集人員 -----	2
2	出願資格 -----	2
3	選抜方法 -----	3
4	出願資格審査 -----	4
5	出願手続 -----	5
6	出願前相談 -----	6
7	研究指導に関わる教員の研究テーマ -----	7
8	合格発表 -----	9
9	社会人の就学に関する特別措置 -----	9
10	入学手続 -----	10
11	初年度納付金 -----	10
12	入学試験成績の開示 -----	11
13	その他 -----	11
III	試験会場案内 -----	12
IV	出願書類記入上の注意及び記入例 -----	13

*** 下記の出願書類が同封されていることを確認してください。**

出願様式	出 願 書 類
A票	志願票（原票）
B～E票	住所票ほか
F票	研究計画書
G票	受験票送付用封筒
H票	出願用封筒
I票	入学試験出願資格審査申請書
	振込依頼書

2020年度埼玉県立大学大学院【博士前期課程】入試 スケジュール

期 間	内 容	対 象
4月26日（金）～7月 5日（金）	出願前相談受付	出願前相談を希望する方（任意）
7月 1日（月）～7月 5日（金）	出願資格審査申請	最終学歴が短期大学、高等専門学校、 専修学校等の方
7月12日（金）	出願資格審査結果発送	出願資格審査申請者
6月24日（月）～7月 5日（金）	障害等のある入学志願者の 事前相談	障害等があり、受験上の配慮を必要と する方
7月22日（月）～7月26日（金）	出願期間	入学志願者全員
8月 1日（木）	受験票発送	入学志願者全員
9月 1日（日）	入学試験	入学志願者全員
9月12日（木）	合格発表	入学志願者全員
9月26日（木）～9月27日（金）	入学手続	入学試験合格者

基本理念

本学は、陶冶、進取、創発を基本理念として、保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献します。

【陶冶】誠実で温かい心と主体性を持ち、多様な価値観を尊重する人間性を磨き高める

【進取】広く先達に学びつつ、未来を志向する教育・研究に取り組む

【創発】多様な連携を通じて、予測を遥かに超える新たな価値を創造する

I 教育研究上の目的・教育目標・入学者受入れ方針

1 教育研究上の目的

自らの専門分野に関する諸問題に対し、多職種の知識と技術を連関させる学際的な思考を基に実効性・有効性のある解決方法を立案できる能力を有し、職業人、教育者又は研究者として、持続的に人々の健康と生活を支えることができる人材を育成することを目的とする。

2 教育目標

複雑多様化する社会において、生活する人々の健康ニーズに高い倫理観をもつて的確に対応するとともに、保健・医療・福祉等の多職種と連携してヘルスプロモーションを発展させることができる人材を育成します。

3 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

複雑多様化する社会において、生活する人々の健康ニーズに高い倫理観をもつて的確に対応するとともに、保健・医療・福祉等の多職種と連携してヘルスプロモーションを発展させることを目指す人を受け入れます。

入学者の選抜では、保健医療福祉分野の、基本的な知識、最新の情報を得るための英語力、科学的な思考力・判断力・理解力、多様な人々と協働して問題解決にあたる能力と意欲、本課程修了に向けての継続的な学修と研究への意欲などを審査します。

なお、本大学院は多様な人々の持続的な学修と研究を可能とするため、夜間・土曜開講の時間割やカリキュラムを整え、社会人を積極的に受け入れます。

Ⅱ 入学試験募集要項

1 募集人員

研究科・専攻	専修	学位	募集人員
保健医療福祉学研究科 保健医療福祉学専攻 博士前期課程	看護学専修	修士（看護学）	合計20人
	リハビリテーション学専修	修士（リハビリテーション学）	
	健康福祉科学専修	修士（健康福祉科学）	

2 出願資格

(1) 一般選抜

本学大学院の一般選抜に出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

ア 学校教育法第83条の大学を卒業した者（又は2020年3月までに卒業見込みの者）

イ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（又は2020年3月までに授与される見込みの者）

ウ 外国において、学校教育による16年の課程を修了した者（又は2020年3月までに修了見込みの者）

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（又は2020年3月までに修了見込みの者）

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は2020年3月までに修了見込みの者）

カ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日（※1）以降に修了した者（又は2020年3月までに修了見込みの者）

キ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）

ク 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（2020年3月31日までに満22歳に達する者に限る）※2

※1 カで出願することを希望する者は、専修学校ごとに「文部科学大臣が定める日」が異なるので、文部科学省ホームページで確認してください。

※2 クで出願することを希望する者は事前に出願資格審査を受ける必要があります。（4ページ「4 出願資格審査」をご覧ください。）

(2) 社会人特別選抜

一般選抜の出願資格を満たし、かつ、2020年3月31日現在、保健医療福祉の分野において3年以上の実務経験がある方は、社会人特別選抜に出願できます。社会人特別選抜を希望する方は、A票に必要事項（職歴等）を記入の上、出願書類とともに提出してください。「3年以上の実務経験」には、非常勤、パート、アルバイト勤務の勤務経験も含まれます。その場合、常勤換算で、通算6,240時間以上の勤務が必要となります。（1日8時間×5日×52週×3年＝6,240時間）

なお、社会人特別選抜に該当する方であっても、一般選抜に出願することができます。ただし、出願できるのは、上記（1）及び（2）のいずれか一方であり、出願後に選抜区分を変更することはできませんので、ご注意ください。

3 選抜方法

筆記試験（専門科目）、面接及び提出書類を総合的に判定して行います。

(1) 選抜期日・科目・試験時間

2019年9月1日(日)

選 抜 区 分	試験科目等	試 験 時 間
全専修共通 (一般選抜・社会人特別選抜)	専門科目	9:00 ~ 10:30
	面 接	11:00 ~ 15:00

※ 面接終了時間については、受験者数により変更する場合があります。

(2) 試験会場

埼玉県立大学（埼玉県越谷市三野宮820番地）

(3) 配点

一般選抜と社会人特別選抜の配点については、次のとおりです。

区 分	試験科目・配点			
一般選抜	英語 100点※	専門科目 100点	面接 100点	合計 300点
社会人特別選抜	英語 50点※	専門科目 100点	面接 100点	合計 250点

※英語はTOEIC L&R公開テストの公式認定証の点数を換算します。

※社会人特別選抜は、合計点（250点満点）を300点満点に換算します。

(4) 試験科目等の内容

試験科目等	出 題 内 容
英 語	TOEIC L&R公開テストの公式認定証の点数を評価
専門科目（筆記試験）	保健医療福祉全般に関する問題及び志望専修分野の専門知識を問う問題
面 接	研究計画書、研究意欲等に関する質疑応答

(5) 受験上の注意

- ア 受験者は、受験者集合時刻（午前8時40分）までに指定された教室に入室し、着席してください。
- イ 専門科目試験開始後は30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ウ 各自の指定された面接開始時に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- エ 専門科目と面接のいずれか1科目でも受験しなかった者は、入学者選抜の対象から除きます。
- オ 当日は、受験票、HBの黒鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴムを必ず持参してください。
- カ 専門科目試験の際、受験票は試験監督員に明示できるよう机の上に置いてください。
- キ 当日受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票の交付を受けてください。
- ク 受験票は入学手続の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
- ケ 試験室に時計はありませんので、必ず持参してください。なお、使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限りです。
- コ 専門科目試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のもの）に限りです。
- サ スマートフォン、携帯電話等は、教室に入る前に必ず電源を切っておいてください。これらを時計として使用することはできません。
- シ 試験会場では昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。昼食場所は、試験会場の教室です。ごみは各自で持ち帰ってください。
- ス 試験当日は駐車場を利用できませんので、公共交通機関を利用してください。
- セ その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

4 出願資格審査

(1) 出願資格審査申請期間

2019年7月1日(月)～2019年7月5日(金) ※期限内必着

(2) 出願資格審査の申請要件

2ページの「2 出願資格 (1) 一般選抜 ク」での出願を希望する方は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります(社会人特別選抜の場合も同じ)。出願資格審査を申請する場合には、次のいずれかの基準を満たすことが必要です。

ア 保健医療福祉に関する国家資格を有し、かつ、保健医療福祉の分野において2年以上の実務経験があること

《保健医療福祉に関する国家資格の例》

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など

イ 短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程を卒業し、かつ、保健医療福祉の分野において2年以上の実務経験があること

(3) 出願資格審査に必要な書類

出願資格審査に必要な書類は次のとおりです。

なお、②、④又は⑤について、申請書と姓が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

- ① 入学試験出願資格審査申請書(1票) ※本学ホームページからダウンロードして使用することもできます。
- ② 卒業・修了(見込)証明書(最終出身学校のもの)ただし、上記「(2) 出願資格審査の申請要件 イ」に該当する場合は、当該短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程のものに限る。
- ③ 審査結果通知用郵便料(書留速達による送付のため672円分の郵便切手)
- ④ 資格の免許等の写し(該当者のみ)
※ 看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など、保健医療福祉に関する資格を有する場合は、免許等の写しを提出してください。
- ⑤ 在職証明書(保健医療福祉の分野の実務経験が2年以上であることの証明書。様式任意)

(4) 提出先

「(3) 出願資格審査に必要な書類」を定型外角形2号の封筒(この要項に添付されている封筒とは別に用意する。)に入れ、郵送(書留速達)により、以下に提出してください。

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

(5) 出願資格審査手続上の注意事項

- ア 出願資格審査申請書類がすべてそろっていない場合は、受理できないことがあります。
- イ 出願資格審査申請後に氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、「(4) 提出先」まで速やかに連絡してください。
- ウ 出願資格審査結果は本人あてに送付します。7月12日(金)に発送する予定ですが、7月18日(木)までに届かない場合は、提出先までお問い合わせください。
- エ 入学を許可した後であっても、提出された出願資格審査申請書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。
- オ 一度受理した出願資格審査申請書類は、返還しません。

5 出願手続

(1) 出願期間

2019年7月22日(月)～2019年7月26日(金) ※最終日17時必着

出願期間を過ぎた場合は、いかなる理由があっても受理しません。

(2) 出願方法

出願は郵送に限ります。いかなる場合も直接出願は認めません。出願書類を一括して取りそろえ、本学所定の出願用封筒により必ず書留速達で郵送してください(※期限内必着)。

(3) 出願先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

(4) 出願書類

出願に必要な書類		書類作成上の注意
A票	志願票(原票)	13ページの「IV 出願書類記入上の注意及び記入例」を参照して、必要事項を もれなく記入してください。社会人特別選抜に出願する方は、特に職歴を詳しく記 入してください。
B票	住所票	① 合格通知書等の連絡を行うため使用します。 ② 郵便番号、住所、氏名を記入してください。
C票	入学検定料振込金 受取書等	① 入学検定料(30,000円)を、同封の「振込依頼書」により指定の口座に 振り込んでください。 ② 出願の際は、取扱銀行の収納印のある「振込金受取書(学校提出用)」を必ず貼 付してください。なお、ATMで振り込みをした場合は、「振込金受取書(学校 提出用)」に取扱銀行の収納印がありませんので、「キャッシュサービスご利用明細 書」を必ず貼付してください。
D票	写真票	① 14ページを参照して、必要事項をもれなく記入してください。 ② 縦4cm×横3cmの カラー写真 (正面上半身無帽、背景なし、 <u>出願前3か月以内</u> <u>に撮影したもの</u>) 2枚(同一のもの) の裏面に志望専修、氏名を記入し、はがれ ないように全面をのり付けして写真貼付欄に貼ってください。
E票	受験票	
F票	研究計画書	本学で作成した用紙により作成してください。
	卒業(修了)証明書 又は 卒業(修了)見込証明書等 ※卒業証書の写しは不可	① 2ページの「2 出願資格(1) 一般選抜」ア～キに該当する最終学歴の卒業 証明書(卒業見込証明書)等を提出してください(任意様式)。 ② 大学改革支援・学位授与機構より学位を授与された方は学位記の写し、学位を 申請中の方は、学位授与申請受理証明書を提出してください。 ③ 証明書が現姓と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。
	在職証明書 ※社会人特別選抜のみ	保健医療福祉分野の実務経験が3年以上であることを証明する書類(勤務先が発 行するもの、様式任意)を提出してください。但し、出願資格審査申請時に実務経 験が3年以上の在職証明書を提出した場合は不要です。
	出願資格審査結果通知の写し	出願資格審査により出願資格の認定を受けた方は、審査結果通知の写しを提出し てください。
	TOEIC L&Rの公 式認定証 (※原本)	2018年7月から出願時までに公式認定証を提出可能な期間中に受験したT OEIC Listening & Reading 公開テストの公式証明書(原本) ※但し、出願時に公式認定証の原本が間に合わない場合は、テスト結果(スコア)をインターネット表示にてハードコピー(画面のスナップショットをプリンター 出力したもの)の提出可。その場合、公式認定証の原本は7月31日(水)までに 提出してください。
G票	受験票送付用封筒	「受験票」返送用として使用します。郵便番号、住所、氏名を明記し、出願する専 修・試験区分に○をつけ、 362円分の切手を貼ってください。
H票	出願用封筒	「専修・試験区分・差出人」欄に必要事項を記入し、 書留速達扱い にしてくだ さい。

(5) 入学検定料について

入学検定料(30,000円)は、同封の「振込依頼書」により指定の口座に振り込んでください。出願の際は、振込依頼書の右端「振込金受取書(学校提出用)」(ATMを利用した場合は利用明細書の原本)をC票に必ず貼付してください。

(6) 出願手続上の注意事項

- ア 出願書類がすべてそろっていない場合は、受理できないことがあります。
- イ 出願資格審査で、出願資格なしと判定された場合は出願できません。
- ウ 出願書類受理後には出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、「(3)出願先」まで速やかに連絡してください。
- エ 受験票は出願書類受理後に本人あてに送付します。受験票は8月1日(木)に発送する予定ですが、8月7日(水)までに届かない場合は、出願先までお問い合わせください。
- オ 入学を許可した後であっても、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には入学を取り消すことがあります。
- カ 一度受理した出願書類及び入学検定料は、返還しません。

(7) 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合は、2019年6月24日(月)から7月5日(金)までに、埼玉県立大学事務局教務・入試担当まで連絡・相談してください。

(連絡先)

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

6 出願前相談

本学大学院に出願する際に、入学後の研究計画、履修計画、関連資格取得状況、実務経験等について、希望者は事前に相談をすることをお勧めします。

(1) 受付期間

2019年4月26日(金)～2019年7月5日(金)

(2) 相談方法

出願前相談を希望する場合には、出願を希望する専修別に「(3)事前相談連絡先」にFAX又はメールで予約をしてください。受付後、担当者から対応教員や相談日時等について、メール又は電話により連絡します。

なお、来学当日は、本学ホームページから「出願前相談票様式」をダウンロードし、必要事項を記入の上、持参してください。

(メール送信内容)

- ・件名 「大学院(博士前期課程)出願前相談」
- ・本文 ①志願者氏名
②連絡先メールアドレス及び電話番号
③大学院(博士前期課程)での研究テーマ

(3) 事前相談連絡先

専修名等	担当者	FAX番号	メールアドレス
------	-----	-------	---------

看護学	教授 添田 啓子	048-973-4170	m-nursing@spu.ac.jp
リハビリテーション学	教授 西原 賢	048-973-4315	m-reha@spu.ac.jp
健康福祉科学	教授 延原 弘章	048-973-4768	m-hssw@spu.ac.jp

7 研究指導に関わる教員の主な研究テーマ

(1) 看護学専修

教員名	主な研究テーマ
飯岡由紀子	臨床看護学・がん看護学・ウィメンズヘルス・看護教育に関する研究
伊藤 善典	医療、福祉等の政策研究
大月恵理子	周産期の母子と家族の健康支援に関する研究
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連
酒井 宏哉	膝関節損傷の診断・治療に関する研究
鈴木 幸子	女性特有の健康問題とその支援、及び周産期の母子と家族の健康支援に関する研究
鈴木 玲子	看護技術及び看護教育に関する研究
関 美雪	公衆衛生看護及び保健師活動に関する研究
添田 啓子	小児看護・小児看護教育に関する研究
田上 豊	保健医療介護政策に関する研究、地域ケアシステムに関する研究、医療・介護の質及び医療安全に関する研究
田中 健一	神経変性・精神疾患における病態制御・薬物治療に関する研究、嗜好・嗜癖及び依存に関する研究
常盤 文枝	成人看護・成人看護教育に関する研究
滑川 道人	脳卒中の予防とリハビリテーションに関する研究、脊髄小脳変性症の分子遺伝学的研究、メディカルスタッフに対する問題解決型学習プログラム開発
林 裕栄	訪問看護、在宅ケアに関する研究
古谷佳由理	子どもと家族を対象とした研究全般、子どもとその家族を対象に看護を提供する看護師を対象とした研究全般
兼宗 美幸	女性特有の健康問題とその支援、及び周産期の母子と家族の健康支援に関する研究
張 平平	老年看護及び老年看護学教育に関する研究・日中国際比較
山口乃生子	成人看護学・国際保健学・感染管理に関する研究

(2) リハビリテーション学専修

教員名	主な研究テーマ
金村 尚彦	組織学、分子生物学、バイオメカニクスを用いた病態の理解と理学療法効果に関する検証
久保田富夫	生活環境への適応と支援に関する研究
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連
酒井 宏哉	膝関節損傷の診断・治療に関する研究
田口 孝行	地域リハビリテーションにおける理学療法効果と健康増進に関する研究
田中 健一	神経変性・精神疾患における病態制御・薬物治療に関する研究、嗜好・嗜癖及び依存に関する研究
中村 裕美	地域在住高齢者の生活分析と健康促進、及び生活支援プログラムの開発に関する研究
滑川 道人	脳卒中の予防とリハビリテーションに関する研究、脊髄小脳変性症の分子遺伝学的研究、メディカルスタッフに対する問題解決型学習プログラム開発

西原 賢	身体運動機能の解析法に関する研究
濱口 豊太	人工知能を用いたヒトの行動-脳相関機能の解析と行動評価およびロボティクスリハビリテーションの開発
原 和彦	補装具及び義肢装具の開発・評価に関する研究
丸岡 弘	内部障害における運動生理学及び動態力学的研究
石岡 俊之	認知機能障害による行動特性の解明、及びその生活支援プログラム開発に関する研究
井上 和久	生活環境支援および健康増進効果（予防）に関する研究
久保田章仁	高齢者の特性とストレス、及び近所コミュニティに関する研究

(3) 健康福祉科学専修

教 員 名	主な研究テーマ
朝日 雅也	職業リハビリテーションと障害者就労支援に関する研究
市村 彰英	家族臨床心理学に関する研究
伊藤 善典	医療、福祉等の政策研究
梅崎 薫	保健福祉領域でのソーシャルワーク、修復的対話、地域中心の公私連携に関する研究
川越 雅弘	医療介護政策・地域包括ケアシステム・ケアマネジメントに関する研究
金野 倫子	精神疾患における精神症状・予後と睡眠の関連
酒井 宏哉	膝関節損傷の診断・治療に関する研究
田上 豊	保健医療介護政策に関する研究、地域ケアシステムに関する研究、医療・介護の質及び医療安全に関する研究
田中 健一	神経変性・精神疾患における病態制御・薬物治療に関する研究、嗜好・嗜癖及び依存に関する研究
中谷 直樹	慢性疾患患者およびその家族の健康影響の同定とその低減方法に関する疫学研究
滑川 道人	脳卒中の予防とリハビリテーションに関する研究、脊髄小脳変性症の分子遺伝学的研究、メディカルスタッフに対する問題解決型学習プログラム開発
延原 弘章	公的な保健福祉統計資料を利用したデータ分析
東 宏行	教育学・臨床教育学に関する研究
福田 素生	社会保障、福祉政策に関する研究
松下 誠	臨床化学検査データの評価に関する研究
若林チヒロ	健康領域、福祉領域の生活研究
新井 智子	検査データに影響する因子に関する解析・研究
有竹 清夏	不眠症者の睡眠状態誤認に関する研究、身体運動と睡眠・体温・時間感覚に関する研究、女性の睡眠と健康に関する研究
井原 寛子	白血病幹細胞のシグナル伝達に関する研究、他
大島 千帆	居住福祉と環境評価に関する研究、認知症ケア環境、介護福祉に関する研究
北島 義典	運動（身体活動）、疫学及び地域保健に関する研究
久保田 亮	予防医学検査、食品検査に関する研究
白土 佳子	生体防御機構における免疫システムに関する研究、NK細胞活性化に関する研究
廣渡 祐史	動脈硬化、脂質異常、糖尿病、メタボリックシンドロームなどに関する新規検査マーカーの探索および分析法の研究、それら疾患に関する既存の検査マーカーの評価および解析研究

8 合格発表

(1) 発表日時

2019年9月12日（木） 午前10時

(2) 発表方法

埼玉県立大学教育研修センター棟前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に合格通知書及び入学手続書類を送付します。電話、郵便、電子メール等による問い合わせには、一切応じません。

(3) インターネットによる合格者の受験番号の閲覧について

合格者の受験番号については、インターネットを利用しても閲覧できます。閲覧できる期間は、合格発表日時から入学手続完了日までです。 ※本学ホームページ <https://www.spu.ac.jp/>

9 社会人の就学に関する特別措置

(1) 教育方法の特例

大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条において、夜間その他の特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができるとされており、本学大学院では社会人の就学のため、在職のまま在学することを認めています。

※ 在職のまま在学を希望する場合は、入学手続時に在職証明書及び在職のまま就学することを勤務先が承諾したことを証する書類（いずれも勤務先が発行するもの、様式任意）を提出していただくこととなります。

(2) 長期履修制度

本学大学院では職業を有しているなどの理由から、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数や研究活動・学習活動のための時間が限られており、2年間の標準修業年限で修了することが困難な方を対象に、4年間を上限とした長期の修業年限を設定し、入学の時点から計画的に履修していく長期履修制度を設けています。**長期履修制度を利用するためには、入学手続時に申請が必要です。**申請については合格通知書とともに入学手続書類を送付する際にお知らせします。

本制度を利用した場合、年間授業料は通常の2年間の年間授業料をそれぞれの修業年限で除した金額を年間授業料として納付していただきます。また、本制度の認定を受けた者が予定より順調に履修計画が進んだ等の理由により、修業年限の短縮を希望する場合には、指導教員の意見を添え、申請することができます。その場合の年間授業料については別途計算方法を定めていますので、詳細は本学事務局教務・入試担当までお問い合わせください。

(お問い合わせ先)

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

埼玉県立大学 事務局教務・入試担当

電話 048-973-4117(直通)

10 入学手続

(1) 入学手続期間

2019年9月26日(木)～2019年9月27日(金) ※期限内必着

(2) 入学手続方法

- ア 入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書発送時に直接本人あてに郵送します。
- イ 手続書類は持参又は郵送により提出してください。
持参する場合の受付時間は午前9時から午後5時まで(正午から午後1時を除く。)です。郵送の場合は必ず書留速達とし、入学手続期間最終日まで**に必着**とします。
- ウ 入学料は所定の額を合格通知書に同封した振込依頼書で振り込み、振込金受取書を入学手続書類と併せて持参又は郵送してください。

(3) 入学手続先(手続場所)

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117(直通)

(4) 入学手続上の注意事項

- ア 入学手続期間を過ぎて到着した書類は受理しません。郵送の場合は所要日数を十分考慮して発送してください。
- イ 必要な書類及び入学料がすべてそろっていない場合には、受理できないことがあります。書類提出の際は、十分確認してください。
- ウ 一度受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。

11 初年度納付金

区 分	金 額	備 考
入学料	埼玉県内の者	211,500円
	上記以外の者	423,000円
授業料	621,000円	入学後、前期(4月)、後期(10月)の2回に分けて納付。

注1 2019年度入学者を対象とした金額です。授業料は変更される場合があります。

2 上記のほか、学生教育研究災害傷害保険料、教科書等の諸経費がかかります。

12 入学試験成績の開示

埼玉県個人情報保護条例に基づき、入学試験の成績（総合得点のみ）を本人に限り開示することができます。希望する方は、事務局教務・入試担当に申し出てください。

(1) 開示の対象者

大学院（博士前期課程）入学試験を受験し、不合格であった者。

(2) 申出の方法

受験者本人が受験票を持参してください。電話による照会には一切応じません。

(3) 開示期間

2019年9月12日（木）～2020年3月31日（火）
月～金曜日（祝日、12/28～1/3を除く）午前9時～12時、午後1時～4時30分
（合格発表日は午前10時～）

(4) 開示場所

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学事務局教務・入試担当
電話 048-973-4117（直通）

13 その他

(1) 日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構が、人物・学業ともに優秀でかつ経済的理由により、修学困難な学生に対して学費を貸与する奨学制度で、卒業後返還しなければなりません。詳しくは、日本学生支援機構ホームページ（<https://www.jasso.go.jp/>）をご覧ください。

(2) 授業料等の減免制度

家庭の経済事情又は不測の災害などのため、入学料又は授業料の納付が著しく困難な学生に対する減免制度があります。

(3) 学費サポートローン利用者への助成

大学提携教育ローン（学費サポートローン）を利用して授業料を支払った場合、在学期間中に支払った利子を大学が助成します。

(4) 教育訓練給付制度について

本学大学院は、教育訓練給付制度の教育訓練講座として厚生労働大臣の指定を受けています。詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/bunya/nouryoku/kyouiku/>

(5) 入学を許可しない場合

卒業等について「見込み」を要件に出願した者は、2020年3月までにそれぞれ、卒業、修了、学位の授与等が完了していない場合は、入学を許可しません。また、提出された出願書類の記載と相違する事実が発見された場合にも、入学を許可しないことがあります。